

# 平成18年度「婚姻に関する統計」の概況

## 人口動態統計特殊報告

### 目次

1	婚姻の推移.....	1
(1)	年次推移.....	1
(2)	月別にみた婚姻.....	4
2	婚姻動向の多面的分析.....	5
(1)	夫妻組数の増減（国際移動を除く）.....	5
(2)	年齢別無配偶者婚姻率・年齢別未婚者初婚率.....	6
(3)	累積初婚率.....	8
(4)	初婚－再婚の組合せ別婚姻.....	11
(5)	平均婚姻年齢及び年齢差.....	11
(6)	月別にみた年齢階級別婚姻.....	12
(7)	離婚した者の再婚状況.....	14
(8)	夫の氏・妻の氏別婚姻.....	14
3	夫妻の国籍別にみた婚姻.....	15
(1)	婚姻件数の構成割合.....	15
(2)	全婚姻に占める初婚割合.....	16
(3)	平均婚姻年齢.....	17
4	都道府県別にみた婚姻.....	18
(1)	初婚－再婚の組合せ別婚姻.....	18
(2)	初婚夫妻の年齢差.....	19
(3)	夫の氏・妻の氏別婚姻.....	20
(4)	日本－外国の組合せ別婚姻.....	21
(5)	有配偶出生率・出生率の比（有配偶の効果）.....	22
5	国際比較.....	26
(1)	婚姻率.....	26
(2)	女子の（期間）合計初婚率.....	27
6	統計表.....	28
7	用語の解説.....	38
8	（期間）合計特殊出生率の全国との格差分解.....	40

厚生労働省大臣官房統計情報部

担当係：人口動態・保健統計課 計析第二係

電話：03-5253-1111（内線：7472）

この資料は、厚生労働省ホームページに掲載しています。

「統計調査結果」→「最近公表の統計資料」→「平成18年度婚姻に関する統計の概況」

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/tokusyuu/konin06/index.html>

## 「婚姻に関する統計」について

平成 18 年度「婚姻に関する統計」は、毎年公表している人口動態統計をもとに、日本において発生した日本人の婚姻の動向について時系列分析、コーホート分析など新たに多面的な分析を行い、人口動態統計特殊報告として取りまとめたものである。

なお、この「婚姻に関する統計」は、昭和 62（1987）年度「婚姻統計」、平成 8（1996）年度「婚姻統計」に続いて今回で 3 回目である。

### 利用上の注意

#### （1）表章記号の規約

- |     |                        |
|-----|------------------------|
| —   | 計数のない場合                |
| ... | 計数不明または計数を表章するのが不適當の場合 |
| 0.0 | 比率が微小(0.05 未満)の場合      |
| △   | 減少数(率)の場合              |

（2）掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が総数に合わない場合がある。

# 1 婚姻の推移

## (1) 年次推移

婚姻件数の年次推移をみると、終戦直後の昭和22、23年の「第1次婚姻ブーム」には95万組となったが、24年からは急激に減少し、26年は67万組と戦後最低を記録した。その後は増加に転じ、昭和45年には「第2次婚姻ブーム」を迎え、47年には110万組となった。昭和48年から53年にかけて再び急激に減少した後は、緩やかな減少傾向となったが、63年から増加傾向に転じた。近年は増減を繰り返す、平成12、13年に増加したものの、14年以降は減少している。そのうちの再婚件数をみると、昭和54年以降増加傾向にあり、全婚姻件数に占める割合は平成17年で25.3%となっている。(図1)

夫妻の一方が外国人の婚姻件数の年次推移をみると、昭和60年以降増加傾向であるが、これは「夫日本-妻外国」が増加したことによる。また、全婚姻件数に占める一方が外国人の婚姻件数の構成割合は、平成17年で5.8%となっている。(図2)

図1 婚姻件数・婚姻率（人口千対）の年次推移 -昭和22～平成17年-

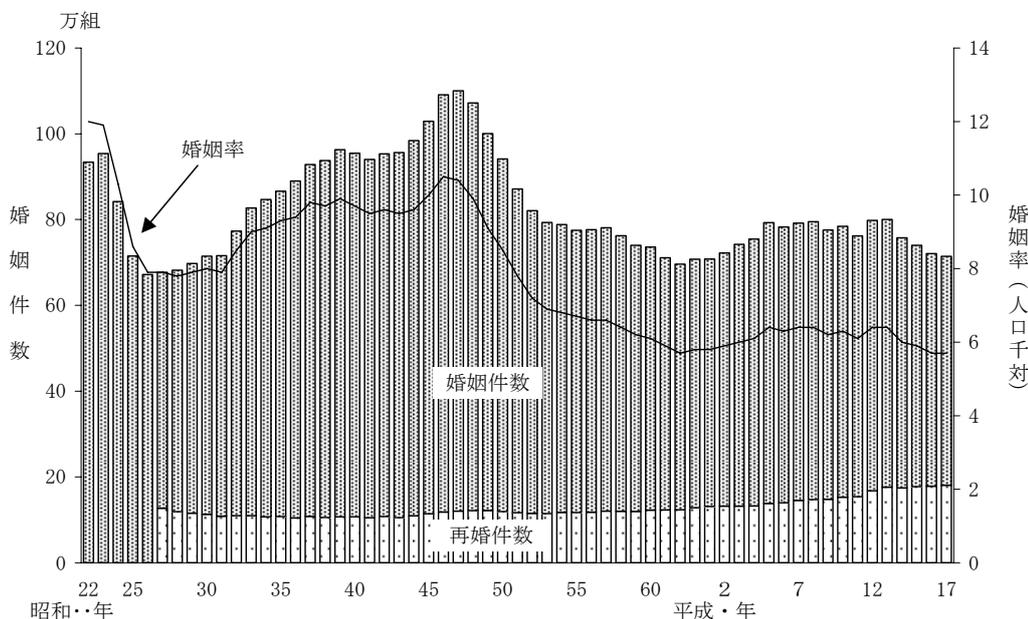
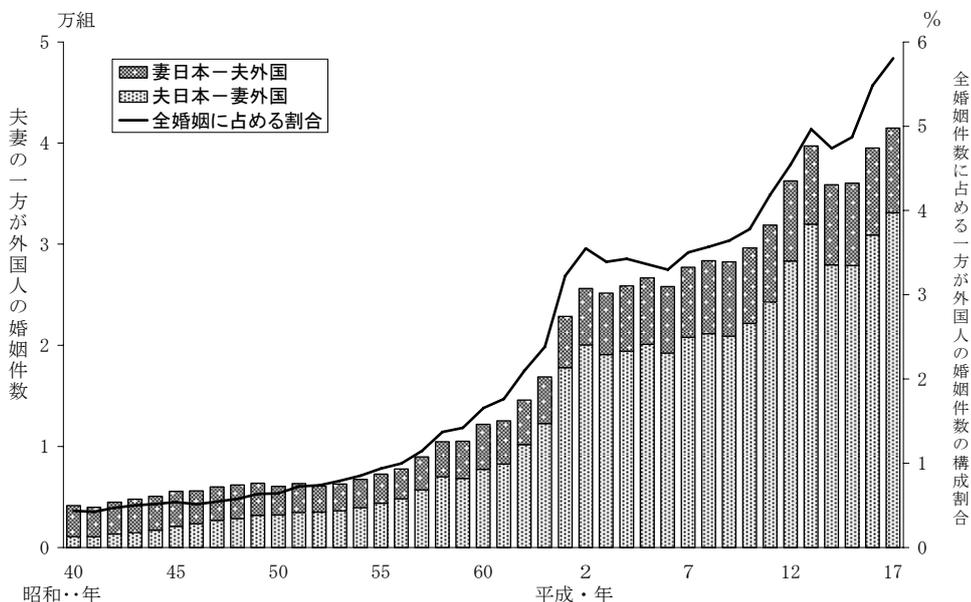


図2 夫妻の一方が外国人の婚姻件数の年次推移 -昭和40～平成17年-



① 初婚－再婚の組合せ別婚姻

夫妻の初婚－再婚の組合せ別婚姻件数の年次推移をみると、「夫妻とも初婚」は平成13年以降減少傾向であるが、「夫妻とも再婚又はいずれか一方が再婚」は昭和50年以降増加傾向にある。

また、構成割合をみると、「夫妻とも再婚又はいずれか一方が再婚」は上昇傾向にあり、特に「夫妻とも再婚」が大きく上昇している。(表1)

表1 夫妻の初婚－再婚の組合せ別婚姻件数及び構成割合の年次推移 ー昭和50～平成17年ー

年次	総数	夫妻とも 初婚	夫初婚 妻再婚	夫再婚 妻初婚	夫妻とも 再婚
実数(組)					
昭和50年	941 628	822 382	33 443	49 063	36 740
55	774 702	657 373	33 512	44 042	39 775
60	735 850	613 387	32 854	43 222	46 387
平成2	722 138	589 886	35 567	47 586	49 099
7	791 888	646 536	40 631	53 622	51 099
12	798 138	630 235	47 939	61 272	58 692
13	799 999	623 514	51 256	64 169	61 060
14	757 331	582 785	50 758	62 353	61 435
15	740 191	562 940	50 787	63 387	63 077
16	720 417	541 675	50 773	64 260	63 709
17	714 265	533 498	50 578	66 193	63 996
構成割合(%)					
昭和50年	100.0	87.3	3.6	5.2	3.9
55	100.0	84.9	4.3	5.7	5.1
60	100.0	83.4	4.5	5.9	6.3
平成2	100.0	81.7	4.9	6.6	6.8
7	100.0	81.6	5.1	6.8	6.5
12	100.0	79.0	6.0	7.7	7.4
13	100.0	77.9	6.4	8.0	7.6
14	100.0	77.0	6.7	8.2	8.1
15	100.0	76.1	6.9	8.6	8.5
16	100.0	75.2	7.0	8.9	8.8
17	100.0	74.7	7.1	9.3	9.0

## ② 平均婚姻年齢及び年齢差

夫・妻の平均初婚年齢をみると、夫・妻とも昭和50年以降上昇傾向のまま推移している。特に妻は、昭和52年に25.0歳、平成4年で26.0歳と、1歳上昇するのに15年かかったが、平成12年で27.0歳になるまでの間隔は8年となり、平成17年で28.0歳になるまでは5年であった。

また、夫・妻の初婚年齢の差は縮小傾向にある。(表2)

表2 夫・妻の平均婚姻年齢及び年齢差の年次推移 —昭和50～平成17年—

年次	全婚姻		初婚		年齢差(夫-妻)	
	夫	妻	夫	妻	全婚姻	初婚
昭和50年	27.8	25.2	27.0	24.7	2.6	2.3
51	28.0	25.4	27.2	24.9	2.6	2.3
52	28.2	25.6	27.4	25.0	2.6	2.4
53	28.5	25.7	27.6	25.1	2.8	2.5
54	28.6	25.8	27.7	25.2	2.8	2.5
55	28.7	25.9	27.8	25.2	2.8	2.6
56	28.9	26.0	27.9	25.3	2.8	2.6
57	29.0	26.1	28.0	25.3	2.9	2.7
58	29.0	26.1	28.0	25.4	2.9	2.7
59	29.1	26.2	28.1	25.4	2.9	2.7
60	29.3	26.4	28.2	25.5	2.9	2.7
61	29.5	26.5	28.3	25.6	2.9	2.7
62	29.6	26.7	28.4	25.7	2.9	2.7
63	29.7	26.8	28.4	25.8	2.9	2.6
平成元	29.8	26.9	28.5	25.8	2.9	2.6
2	29.7	26.9	28.4	25.9	2.8	2.5
3	29.6	26.9	28.4	25.9	2.8	2.5
4	29.7	27.0	28.4	26.0	2.7	2.4
5	29.7	27.1	28.4	26.1	2.6	2.3
6	29.8	27.2	28.5	26.2	2.6	2.3
7	29.8	27.3	28.5	26.3	2.5	2.2
8	29.9	27.5	28.5	26.4	2.4	2.1
9	29.9	27.6	28.5	26.6	2.3	1.9
10	30.0	27.7	28.6	26.7	2.3	1.9
11	30.2	27.9	28.7	26.8	2.3	1.9
12	30.4	28.2	28.8	27.0	2.2	1.8
13	30.6	28.4	29.0	27.2	2.2	1.8
14	30.8	28.6	29.1	27.4	2.2	1.8
15	31.2	29.0	29.4	27.6	2.2	1.8
16	31.5	29.2	29.6	27.8	2.3	1.8
17	31.7	29.4	29.8	28.0	2.3	1.8

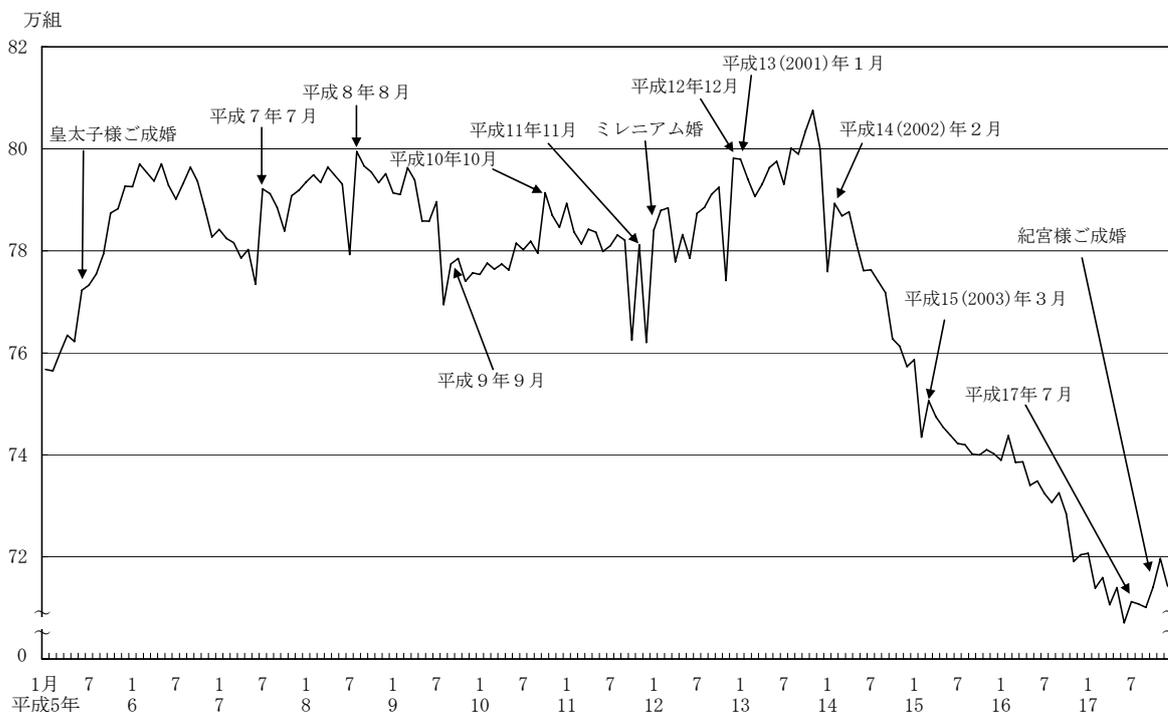
注：1) 平均婚姻年齢とは、各届出年に結婚生活に入り届け出たものについて、結婚式をあげたときまたは同居を始めたときのうち早いほうの年齢の平均である。

2) 初婚については、夫・妻の一方をみたものであり相手の初婚・再婚はみしていない。

(2) 月別にみた婚姻

婚姻件数を当月を含む過去1年間でみると、皇室の慶事（平成5年6月は、皇太子様ご成婚、平成17年10、11月は、紀宮様ご成婚）、並び数字（例えば、平成7年7月、平成14（2002）年2月）、ミレニアム婚（平成12（2000）年1月）の月は前年と比べて、多くなっている（図3・表3）。

図3 当月を含む過去1年間でみた婚姻件数の推移 —平成5～17年—



注：例えば、「平成5年1月」は平成4年2月～5年1月までの1年間の累積である。

表3 月別にみた婚姻件数 —平成2～17年—

年次	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成2年	722 138	37 597	51 876	70 425	66 836	75 435	72 987	44 551	31 916	42 293	76 836	82 788	68 598
3	742 264	38 270	52 850	75 160	70 064	74 875	68 812	49 531	32 217	45 276	79 168	82 242	73 799
4	754 441	40 861	55 091	77 121	70 503	72 760	71 295	51 720	34 657	47 707	75 867	83 755	73 104
5	792 658	43 147	54 838	80 622	73 980	71 534	81 334	52 723	36 856	51 633	83 883	84 638	77 470
6	782 738	43 098	59 247	78 881	72 377	74 909	77 121	50 023	39 865	54 896	81 094	79 266	71 961
7	791 888	44 532	57 496	78 082	69 338	76 598	70 271	68 726	38 957	52 183	76 485	86 154	73 066
8	795 080	46 111	58 915	76 608	72 316	74 948	68 642	54 897	59 115	49 336	75 355	84 057	74 780
9	775 651	42 373	58 614	81 835	69 950	66 910	68 589	58 713	38 958	57 300	76 390	79 582	76 437
10	784 595	42 085	60 849	80 643	70 963	65 757	73 812	57 457	40 609	54 934	88 284	75 128	74 074
11	762 028	46 754	55 321	78 246	73 836	65 182	70 040	58 567	42 741	53 947	68 650	93 809	54 935
12	798 138	68 759	59 228	78 744	63 239	70 538	65 361	67 388	43 894	56 533	70 027	75 519	78 908
13	799 999	68 558	55 348	75 306	65 744	73 706	66 638	62 885	50 923	55 393	74 619	79 483	71 396
14	757 331	44 510	68 655	72 901	66 496	67 452	61 429	63 033	48 728	53 105	65 586	77 987	67 449
15	740 191	45 851	53 469	80 046	63 314	65 402	59 822	61 475	48 456	51 309	65 378	79 026	66 643
16	720 417	44 599	58 279	74 833	63 388	60 811	60 707	59 008	46 662	53 249	61 246	69 698	67 937
17	714 265	44 871	51 456	76 934	58 073	64 163	53 815	63 127	46 197	52 572	65 274	75 226	62 557

注：   は、皇室の慶事（平成5年6月は皇太子様ご成婚、平成17年10、11月は紀宮様ご成婚）  
  は、並び数字（例えば、平成7年7月、平成14（2002）年2月）  
  は、ミレニアム婚（平成12（2000）年1月）

## 2 婚姻動向の多面的分析

### (1) 夫妻組数の増減（国際移動を除く）

夫妻組数の増減は、その年次の婚姻件数から、離婚件数及び有配偶死亡数を差し引くことによりみることができる。

昭和 50 年には約 50 万組あった増加組数が徐々に減少し、62 年には 16 万組まで減少したが平成 5 年まではほぼ同数で推移し、その後 9 年には 10 万組を下回り、14 年以降はマイナスに転じている。（表 4）

表 4 夫妻組数の増減（国際移動を除く）の年次推移 —昭和 50～平成 17 年—

年次	婚姻件数 ①	離婚件数 ②	有配偶死亡数		夫妻組数の増減 (国際移動を除く) ①-②-③-④
			夫死亡 ③	妻死亡 ④	
昭和 50 年	941 628	119 135	244 340	92 020	486 133
51	871 543	124 512	246 981	91 396	408 654
52	821 029	129 485	244 946	90 228	356 370
53	793 257	132 146	248 487	90 842	321 782
54	788 505	135 250	249 406	90 380	313 469
55	774 702	141 689	261 276	93 518	278 219
56	776 531	154 221	261 565	93 141	267 604
57	781 252	163 980	261 242	92 620	263 410
58	762 552	179 150	271 228	95 132	217 042
59	739 991	178 746	273 468	94 287	193 490
60	735 850	166 640	278 564	96 004	194 642
61	710 962	166 054	277 635	95 219	172 054
62	696 173	158 227	280 069	95 416	162 461
63	707 716	153 600	293 208	99 050	161 858
平成 元	708 316	157 811	293 503	98 645	158 357
2	722 138	157 608	305 575	101 830	157 125
3	742 264	168 969	310 211	103 303	159 781
4	754 441	179 191	320 274	105 749	149 227
5	792 658	188 297	328 060	108 590	167 711
6	782 738	195 106	327 717	107 912	152 003
7	791 888	199 016	341 823	113 008	138 041
8	795 080	206 955	337 085	111 423	139 617
9	775 651	222 635	342 681	112 446	97 889
10	784 595	243 183	350 882	114 329	76 201
11	762 028	250 529	364 015	118 813	28 671
12	798 138	264 246	358 617	116 643	58 632
13	799 999	285 911	358 777	117 549	37 762
14	757 331	289 836	363 127	117 957	△13 589
15	740 191	283 854	371 579	120 303	△35 545
16	720 417	270 804	375 059	122 814	△48 260
17	714 265	261 917	390 608	127 303	△65 563

注：有配偶死亡は日本における日本人の死亡であり、夫妻の一方が外国人の夫妻のうち死亡者が外国人の場合や交通事故等による夫妻同時死亡の場合は含まれない。結果として、死亡による夫妻組数の減少は小さくなっているため、「夫妻組数の増減」は実際のものより大きい。

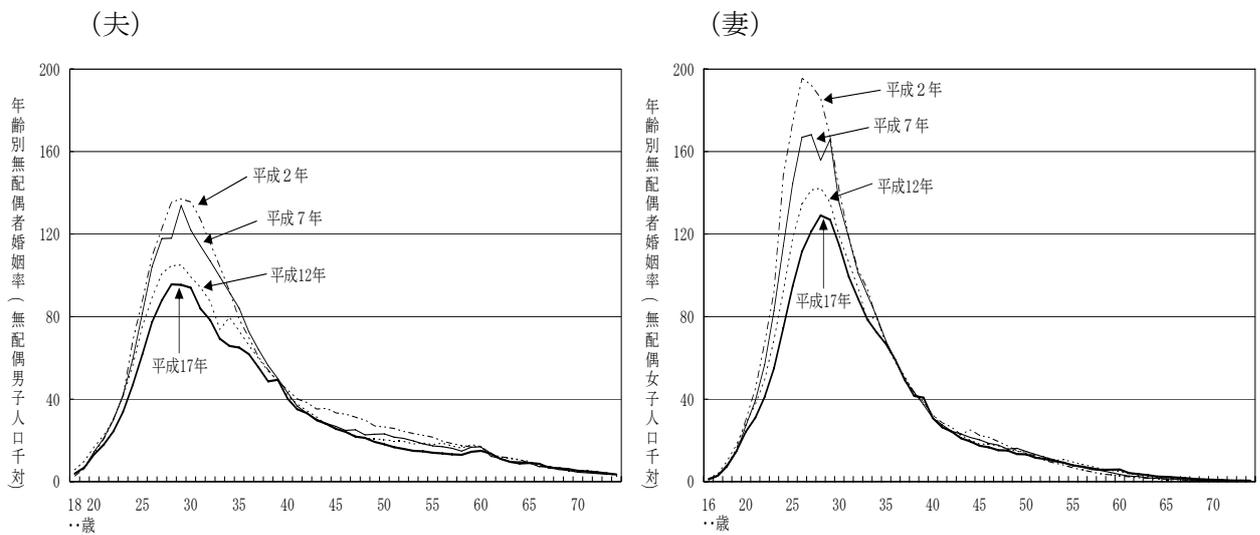
(2) 年齢別無配偶者婚姻率・年齢別未婚者初婚率

婚姻（初婚・再婚）は無配偶者（未婚・死別・離別）、初婚は未婚者が対象となる。したがって、年齢別無配偶者婚姻率及び年齢別未婚者初婚率をみると、夫はどの年次も 28、29 歳がピークとなっているが、近年はそのピークが低くなっている。無配偶者婚姻率では年次により 40～60 歳で違いがみられたが、未婚者初婚率ではほとんど違いがない。

一方、妻は近年、21～33 歳で急激な低下がみられるとともに、平成 2 年はピークが 26 歳であったのに対し、12、17 年では 28 歳がピークとなっており、晩婚化の傾向がうかがえる。

それぞれについて平成 17 年の夫と妻と比較してみると、いずれもピーク時の年齢は 28、29 歳と同じであるが、妻の率が高くなっている。また、30 歳代から 40 歳代にかけて急激に低下する妻に対し、夫は緩やかに低下をしている。（図 4・5）

図 4 年齢別無配偶者婚姻率（無配偶人口千対） —平成 2・7・12・17 年—



<参考> 年齢別婚姻率（人口千対） —平成 2・7・12・17 年—

( 婚姻率 = 無配偶者割合 × 無配偶者婚姻率 )

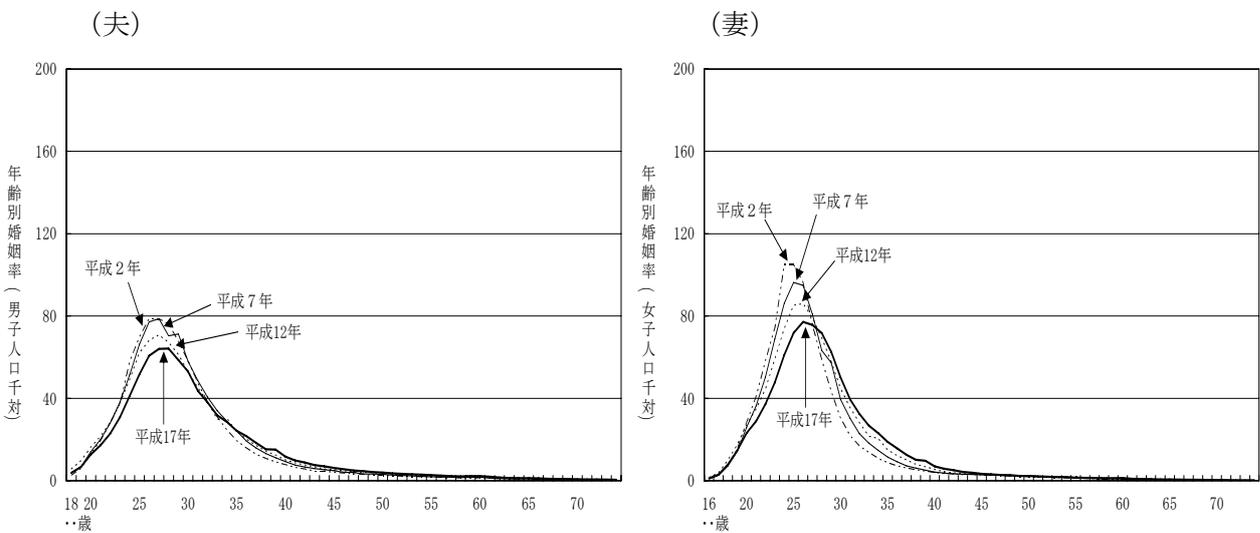
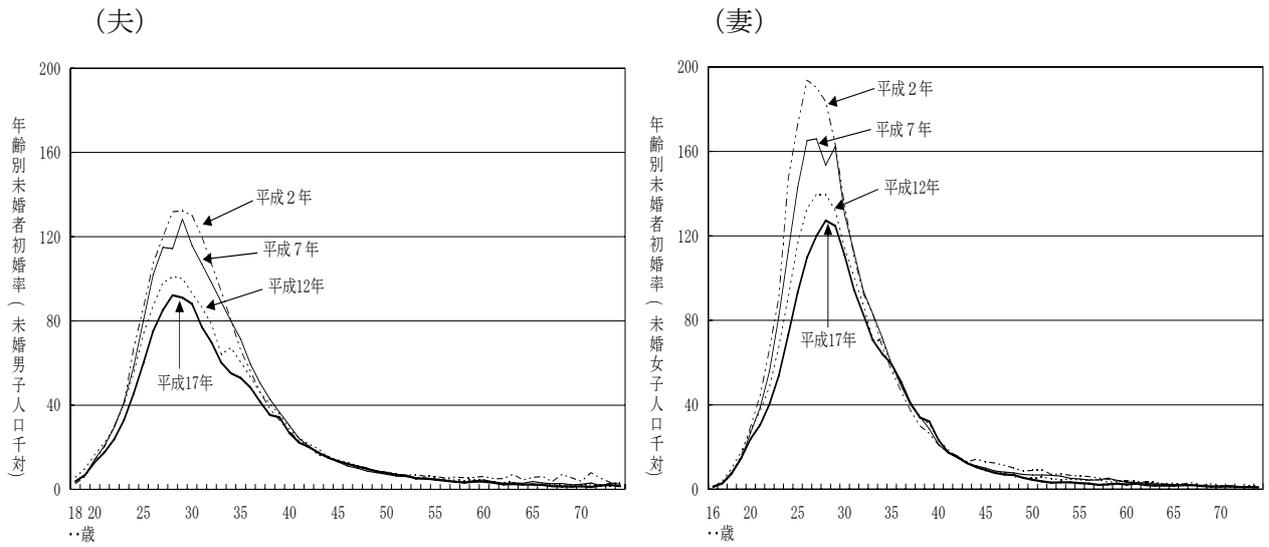
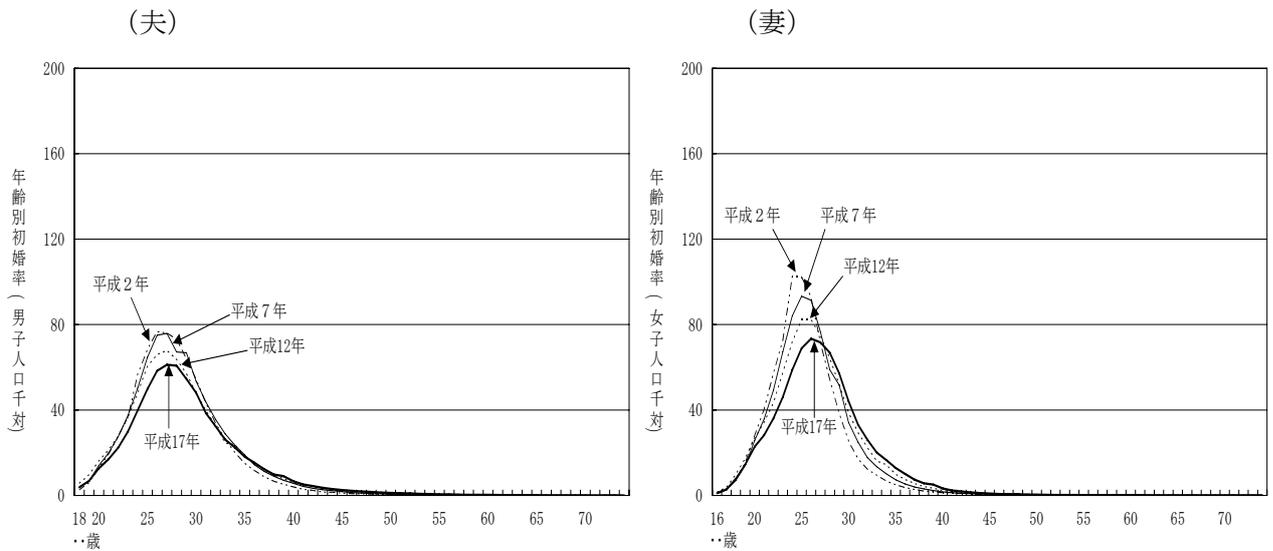


図5 年齢別未婚者初婚率（未婚人口千対） —平成2・7・12・17年—



<参考> 年齢別初婚率（人口千対） —平成2・7・12・17年—

（ 初婚率 = 未婚者割合 × 未婚者初婚率 ）



### (3) 累積初婚率

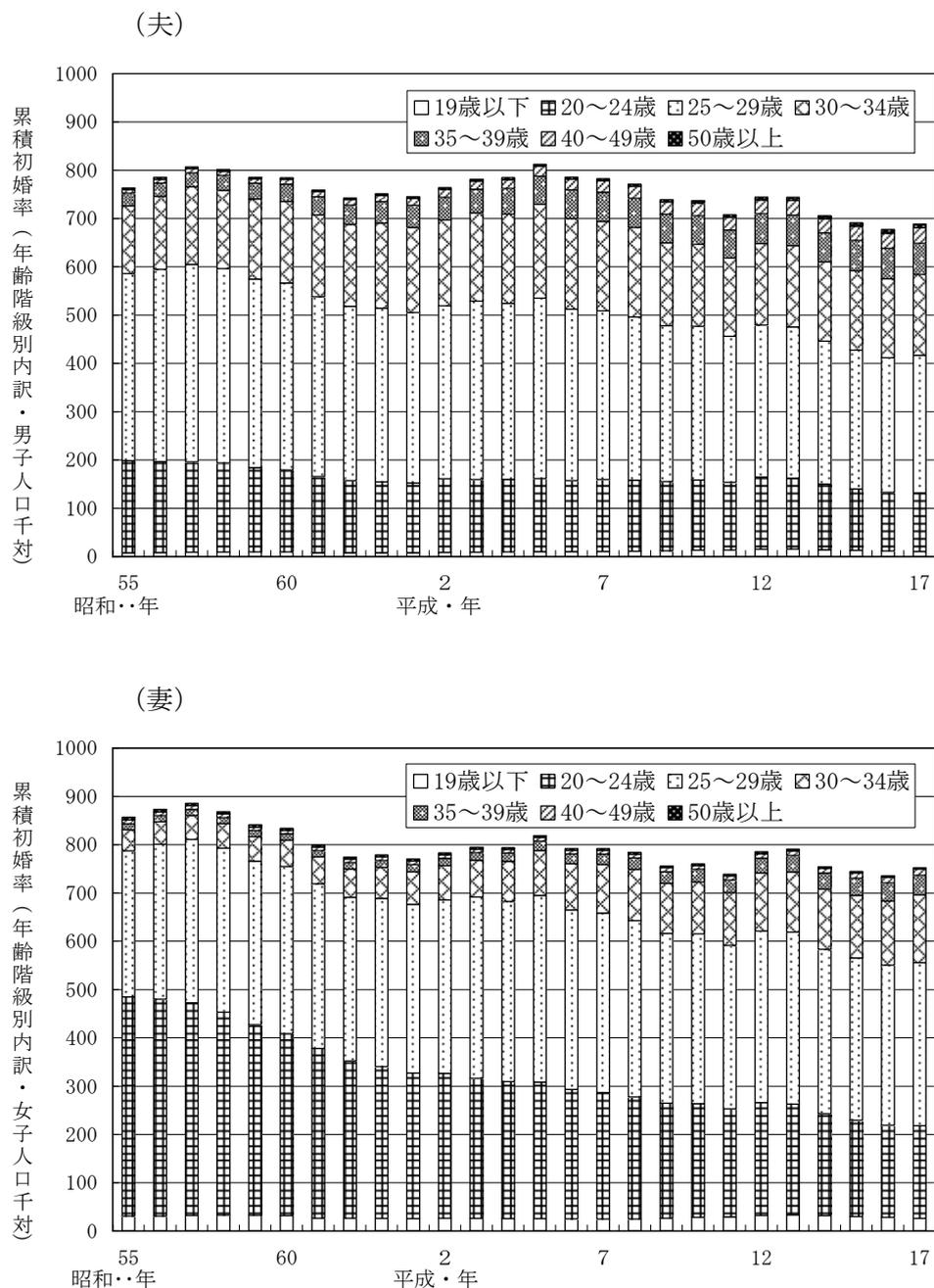
「累積初婚率」とは、ある年齢までの年齢別初婚率を合計したものである。

#### ① 期間別にみた累積初婚率（年齢階級別内訳）

累積初婚率を期間別にみると、夫・妻とも昭和55年以降上昇と低下を繰り返し、近年は低下傾向にあったが、それぞれ平成17年は前年よりわずかに上昇している。

これを年齢階級別にみると、夫は昭和55年以降「25～29歳」が最も高くなっているが、妻は55年に最も高かった「20～24歳」が57年から平成元年にかけて、約3割低下しており、昭和62年以降は「25～29歳」が最も高くなっている。また、夫・妻とも「20～24歳」及び「25～29歳」は低下傾向にあり、「30～34歳」は上昇傾向にあったが、平成17年は「20～24歳」及び「25～29歳」が上昇に転じている。（図6・統計表3）

図6 期間別にみた累積初婚率（年齢階級別内訳・人口千対） —昭和55～平成17年—



## ② 出生コーホート別にみた年齢別累積初婚率

「コーホート」とは、ある期間に出生・婚姻等何らかの事象が発生した人を集団としてとらえたものであり、出生によるものを「出生コーホート」と呼ぶ。

夫の年齢別累積初婚率を出生コーホート別に、昭和 38、43、48、53、58 年生まれの 5 つの世代についてみると、20 歳代前半までの累積初婚率ではほとんど違いがないものの、年齢が上がるにつれ世代間の違いがみられる。

一方、妻をみると、20 歳以降世代を追うごとに徐々に低下している。ただし、晩婚化の影響もあり昭和 38 年生まれと 48 年生まれを比較してみると、30 歳以降その差は縮小している。(図 7・表 5)

図 7 出生コーホート別にみた年齢別累積初婚率（人口千対）

—昭和 38・43・48・53・58 年生まれ—

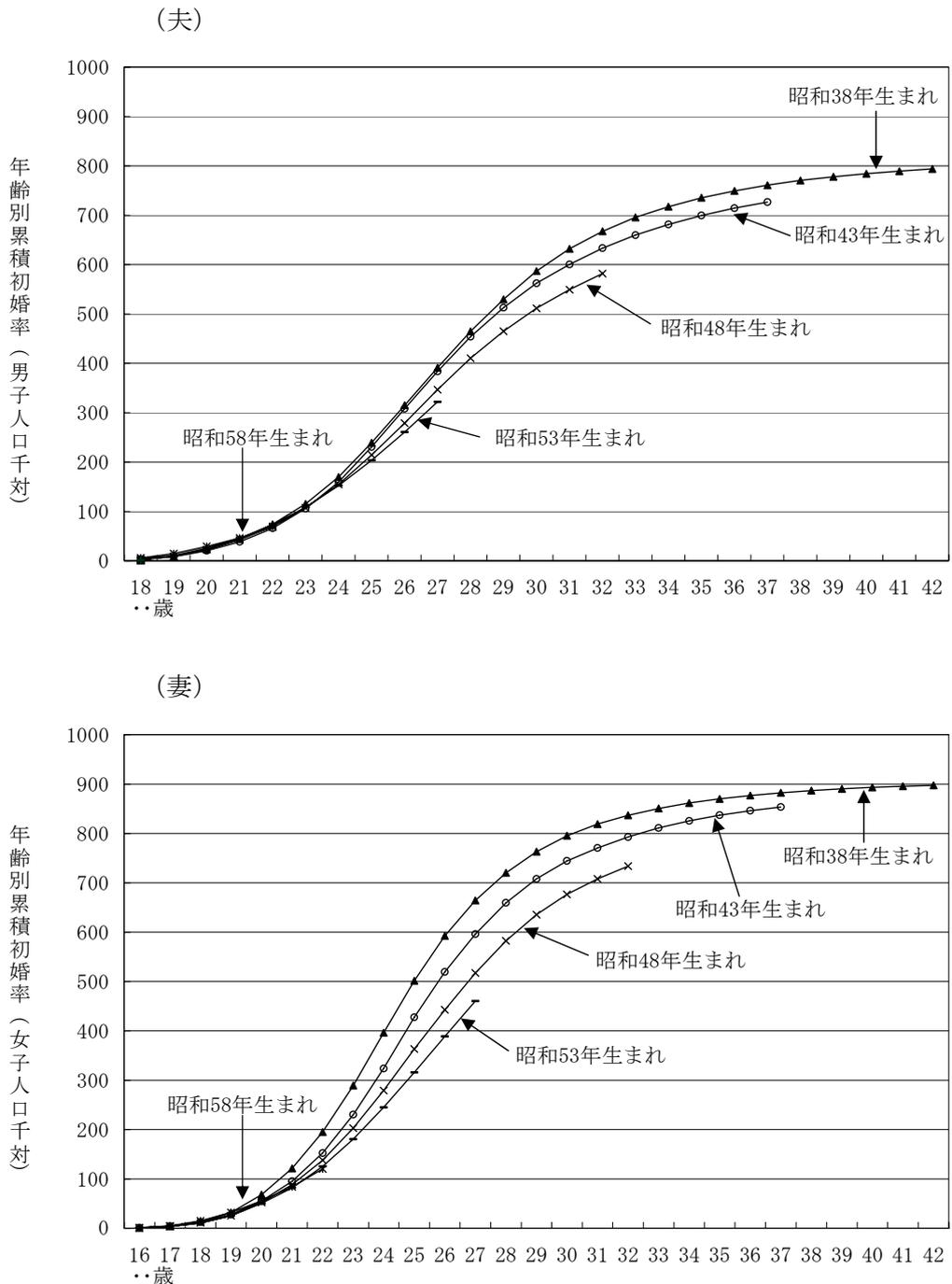


表5-1 出生コーホート別にみた夫の年齢別累積初婚率（男子人口千対）

—昭和36～61年生まれ—

出生年	累積初婚率（男子人口千対）					
	19歳	24歳	29歳	34歳	39歳	44歳
昭和36年生まれ（44歳）	7.5	183.0	546.6	736.9	797.4	818.6
37（43）	8.2	179.2	541.9	733.2	793.4	
38（42）	8.6	169.8	529.7	717.4	778.1	
39（41）	9.0	160.9	523.6	705.9	767.3	
40（40）	9.0	153.3	515.3	691.2	753.0	
41（39）	10.2	168.7	554.7	738.8	805.6	
42（38）	7.9	146.6	482.9	642.0		
43（37）	8.2	159.5	512.7	681.3		
44（36）	7.9	159.1	500.2	667.8		
45（35）	7.9	154.8	481.0	647.0		
46（34）	8.4	154.1	471.7	638.4		
47（33）	8.7	154.5	467.1			
48（32）	9.5	154.6	464.9			
49（31）	9.9	155.1	460.6			
50（30）	10.2	153.0	458.9			
51（29）	10.0	151.5	447.8			
52（28）	10.6	152.6				
53（27）	11.1	152.3				
54（26）	12.8	150.1				
55（25）	13.1	143.6				
56（24）	14.7	143.6				
57（23）	15.4					
58（22）	14.6					
59（21）	13.5					
60（20）	12.0					
61（19）	11.1					

注：1）（ ）内の年齢は、平成17年時点の年齢である。  
2）空欄は計数が得られていない。

表5-2 出生コーホート別にみた妻の年齢別累積初婚率（女子人口千対）

—昭和38～61年生まれ—

出生年	累積初婚率（女子人口千対）				
	19歳	24歳	29歳	34歳	39歳
昭和38年生まれ（42歳）	31.7	396.0	763.2	861.6	890.5
39（41）	31.9	371.1	746.9	849.2	880.0
40（40）	31.5	348.0	728.4	832.1	864.8
41（39）	34.7	364.2	774.3	891.0	929.3
42（38）	27.0	306.1	668.3	774.0	
43（37）	27.6	323.9	708.1	825.6	
44（36）	26.6	316.6	691.6	813.0	
45（35）	26.4	304.5	669.6	795.9	
46（34）	26.3	296.3	654.5	783.6	
47（33）	26.2	290.3	648.8		
48（32）	25.7	279.1	635.5		
49（31）	25.9	272.3	627.4		
50（30）	25.5	260.0	616.3		
51（29）	24.6	251.8	601.9		
52（28）	24.4	248.7			
53（27）	25.2	244.9			
54（26）	27.2	243.0			
55（25）	28.0	233.5			
56（24）	30.2	229.7			
57（23）	32.3				
58（22）	31.9				
59（21）	31.0				
60（20）	29.8				
61（19）	28.0				

注：1）（ ）内の年齢は、平成17年時点の年齢である。  
2）空欄は計数が得られていない。